



高齢者を対象としたくすりの正しい飲み方・使い方

くすりの上手な付き合い方

日時 平成31年2月2日(土) 14時~16時頃

場所 知立市図書館 2階 視聴覚室

講師 名城大学薬学部 野田 幸裕氏

内容 50歳以上を対象とした、くすりとの上手な付き合い方についての講演です。簡単な体験実験も行います。皆さんは、くすりの正しい飲み方・使い方をしていますか？
Q&A方式で解説します。

料・額 16歳以上・50名程度(要予約)

申込 平成31年1月12日(土)9時~(先着順)
このチラシ裏の下部にある「参加申込書」ご記入のうえ、切り取って知立市図書館カウンターまでお持ちください。または、電話にてお申込みください。

問い合わせ 知立市図書館 (0566)83-1131

平成31年2月2日(土) 知立市図書館 視聴覚室(2階)にて 「くすりとのお上手な付き合い方：高齢者を対象としたくすりの正しい飲み方」 「くすり教室：実験講座」の出前講義・Eプロを開催：特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO)と共催

名城大学薬学部では出前講義の一つとして、高齢者や小学生に「くすり」や「薬物依存」のことを知ってもらう授業や体験実験を特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO)の協力の下、名城大学 Enjoy Learning プロジェクト(通称：Eプロ)の薬学生と共に行っています。Eプロとは、大学が課外活動を支援する事業「Enjoy Learning プロジェクト」の通称です。

知立市図書館 教育部文化課からの依頼で、平成31年2月2日(土)、知立市図書館にて「くすりとのお上手な付き合い方：高齢者を対象としたくすりの正しい飲み方」
「くすり教室：実験講座」の出前講義を下記の内容にて開催しました。図書係佐々木真波様の事前広報・準備のご尽力により、43名の応募がありましたが、当日は37名が「くすり」について学び、「楽しく実験することが出来た」「薬に対する不安が減った」と大好評でした。Eプロとしては8回目の開催となりました。

知立市図書館における「くすり教室」

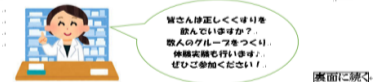
日時：平成31年2月2日(土) 14時00分~16時00分

場所：知立市図書館 視聴覚室(2階)

本学部 野田幸裕教授がどのようにくすりを飲んだら適切に効き、副作用を防ぐことが出来るか、Q&A方式の参加型形式でスライドや動画を使ってわかりやすく説明しました。参加者は問いかけに積極的に答えてくれました。体験実験では、内容をより理解できるように、参加者は9グループ(1グループ3~5名)に分かれ、薬剤師や薬学生による補助・解説を受けながら行いました。特に、「薬の服用タイミング」「薬の使い方」「薬と飲食物の関係」「おくすり手帳の重要性」については非常に熱心に聞いていただき、動画や体験実験から視覚的に理解が深められ、とても楽しかったと好評でした。

内容：

- 薬にまつわる疑問ー薬の用法：①服用タイミングはいつ？ ②車の運転を控えた方がよい薬は？ ③正しく服用されない、飲み残しの薬は？ ④薬を他の人にあげても良いですか？
- 薬の使い方 ①点眼薬 ②湿布薬
- 薬の正しい服用方法：体験実験
 - ① 薬の溶ける工夫(飲みやすさ・腸溶)
 - ② 薬と飲食物との関係(相互作用)
- 実験1：コップ1 ぱいの水かぬるま湯で「くすり」を飲む理由
- 実験2：水がなくても飲める「くすり」の溶解の様子を観察
- 実験3：胃でとけずに腸でとける「くすり」の溶解の様子を観察
- 実験4：鉄シロップ剤の「くすり」とお茶との組合せによる成分変化の観察
- 実験5：「うがいぐすり」とビタミンCの組合せによる成分変化の観察
- その他：命を守るおくすり手帳



制作：名城大学薬学部 病態解析学 I・Eプロ(中村真理子、武藤利奈、佐治 凧帆、野田幸裕)
監修：NPO J-DO

